

出張報告

報告日 令和3年5月20日

会派名	柏盛クラブ
報告者氏名	三宮 直人
種別	<input type="checkbox"/> 調査研究 (<input type="checkbox"/> 行政視察) <input checked="" type="checkbox"/> 研修会 <input type="checkbox"/> 要請・陳情 <input type="checkbox"/> 各種会議
用務	住み続けられるまちづくり (SDGs とポストコロナの地域政策)
日時	令和3年5月19日 13:00 ~ 令和3年5月19日 15:00
場所	会派室よりオンライン参加
調査項目等	議員としてのSDGsの使い方について学ぶ
概要	<p>SDGs 持続可能な開発目標 11 「住み続けられるまちづくり」に関して自治体におけるSDGsの位置づけや議会としての取り組み方について学んだ。以下ポイント。</p> <p>(1) SDGsの位置づけ</p> <ul style="list-style-type: none">① コロナ禍、アフターコロナにおいて政策検討の規範となる② 地域政策に落とし込むのが議員としての役割<ul style="list-style-type: none">・政策の対象となる事実=社会的ジレンマを抱えた事実を見つけデータで共有する <p>(2) 目標11「住み続けられるまちづくり」</p> <ul style="list-style-type: none">① 目標11こそ地域の視点で解決する。自治体を継続するための課題を焙り出す。② 日本の地域の持続可能性課題<ul style="list-style-type: none">・公共交通など持続可能な輸送システム・自然災害のリスク軽減・安全な緑地・公共スペースへのアクセス確保・都市と農村の良好な繋がり・現地資源の活用 (地産地消)③ 具体的な社会的ジレンマ<ul style="list-style-type: none">・公共交通：利便性を高め継続的な確保が必要だが財政負担が増加・公共スペース：施設を作れば集まるが繋がらない・地域資源：他に無い資源はあるがチャンスに変えられない etc
所感等	住み続ける街にするためには、社会的ジレンマを見つけ出し共有し行動変容を促していくことが必要と理解した。わかりやすく使いやすい視点である。現在、第5次総合計画の後期基本計画の見直しの中で役立てていきたい。